

ふるさと住民登録制度モデル事業における JR東日本の役割と関わり方

2026年6月12日

東日本旅客鉄道株式会社 東北本部
マーケティング部 地域連携ユニット

👥 目指す姿

- ✓ 地域に愛着・関心を持つ人の裾野を広げ、関係人口の創出を図るとともに、継続的に地域と関わり続ける関係づくりを目指します。
- ✓ 今すぐの移住・来訪に限定せず、地域との多様な接点を創出しながら、関心・理解・行動へとつなげ、関係を段階的に育てていくことを重視しています。

🤝 JR東日本が本事業で担う役割

- ✓ 自治体の皆さまの目的に応じて、JR東日本の多様なアセットを組み合わせ、参加のきっかけづくりと関係の継続に取り組む役割を担います。
- ✓ そのため我々は、自治体の皆さまが進める制度運営を前提に、参加促進のための「接点づくり」とふるさと住民の地域との継続的な関わりを支える役割を担います。

本事業で得られた知見を踏まえ、**2027年春予定のご当地Suica(※)の導入**も見据えながら、関係人口の拡大に向けた取組の展開を図っていきます。

ここからは、現在想定している弊社アセットの活用イメージについてご説明します。



※「ご当地Suica」とは

モバイルSuicaを基盤とし、県内の生活サービスのDX化や交通の利便性向上を図る地域プラットフォーム。居住者の利便性向上のほか、関係人口増に資する様々な取り組み(情報発信・来訪・インセンティブ活用等)を支え、地域との関わりを継続・深度化させる基盤としての構築を目指す。

■ 参加促進のための「接点づくり」

地域に対して潜在的な関心や愛着を持ち、将来的に継続的な関わりが期待できる層を対象とし、関心度や接触シーンに応じた接点づくりを行います。これらの層に対しては、JR東日本が有する多様な媒体・接点を活用することで、日常生活の中で本制度に触れる機会を創出できます。

① 体験型接点

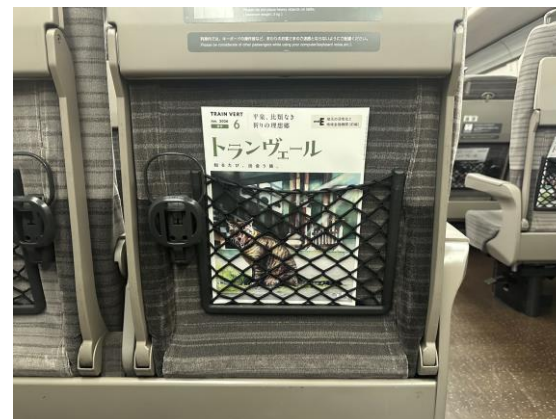
地域を「体験」する中で関心を高める層向けの情報発信



例) 都内での産直市やマルシェ、駅ナカスペース、各種イベント等の活用

② 旅ナカでの接点

すでに地域への関心を持つ層へのアプローチ



例) 新幹線車内・着駅での情報発信など

③ イベント・セミナー活用 関心層との関係性の創出・ 深度化に向けた情報発信拠点の活用

LiSH TAKANAWA
GATEWAY
Link Scholars' Hub

④ デジタル接点 幅広い層への継続的・反復的な接触

JREメディア JRE MALL

※ こちらは現時点での想定イメージです。実施内容や実施可否については、自治体の皆さまのご意向を踏まえ、検討・調整を行っていきます。

■ 本制度への参加および継続的な地域との関わりを支える仕組みの提供

本制度に参加し地域との関わりを持つ登録者に対し、来訪や滞在に伴う負担の軽減を通じて、関わりを継続しやすくするための支援を行う際の一手段として、弊社ツールの活用をご提案します。

活用例① JRE POINTでのバリュー還元

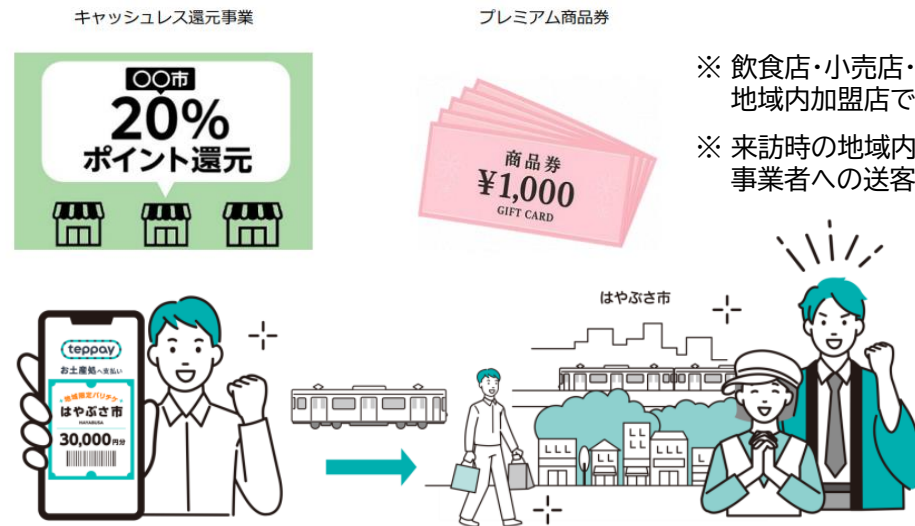
プレミアム登録においては、一定回数の地域訪問が必要となることから、**地域訪問に係る経済的負担の軽減**を目的として、来訪実績等に応じたJRE POINTによる還元を行うこと等が考えられます。



活用例② teppay※でのバリュー還元・地域内消費の促進

地域を実際に訪れた登録者に対し、来訪や滞在時の消費に活用できる支援手段として、**指定地域内でのみ利用可能なteppayの地域限定バリュー(バリチケ)機能**を活用した支援等が考えられます。

※teppay:2026年秋開始予定のコード決済サービス



※ 飲食店・小売店・体験コンテンツ等、
地域内加盟店での利用を想定
※ 来訪時の地域内消費を後押しし、
事業者への送客にもつながる仕組み

※ こちらは現時点での想定イメージです。実施内容や実施可否については、自治体の皆さまのご意向を踏まえ、検討・調整を行っていきます。

- ✓ 鉄道×エアラインのモード連携により、広域移動と二地域居住を組み合わせた関係人口創出に取り組んでいます。
- ✓ 体験メニューの提供や移動支援を組み合わせ、地域との継続的な関わりを生み出す仕組みを展開しています。

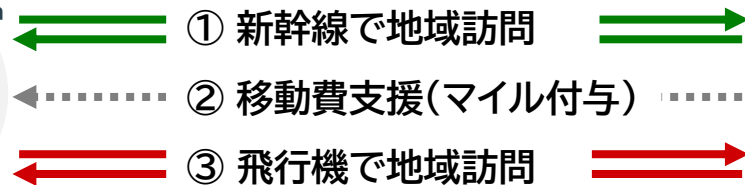
■ プログラム概要

「東日本、二地域暮らし」

1往復目の鉄道利用で2往復目の航空移動を支援！
お試しに地域居住プログラム

二地域居住者

首都圏
関西圏



東日本エリア
市町村



支援内容

二地域居住において、1往復目を新幹線で地域訪問すると、
2往復目の飛行機代をマイルで支援する
※その他交通費・滞在費は各自負担

対象期間

2026年6月～2027年1月

プログラム開始中

参加条件

- ① 対象地域にご宿泊いただける方
- ② 対象期間中に、東北新幹線をご利用いただく、かつ、東京(羽田)/大阪(伊丹)発のJAL運行便で対象地域へ2往復以上の訪問いただける方
- ③ お申込み時にJALマイレージバンク、えきねっと、JRE POINT 会員の方
- ④ その他自治体の定める条件を満たす方

参加自治体	定員	最低訪問回数	支援マイル数
青森県 黒石市	10名	2回(新幹線1回/飛行機1回)	15,000マイル
秋田県 仙北市	5名	2回(新幹線1回/飛行機1回)	13,000マイル
秋田県 にかほ市	5名	2回(新幹線1回/飛行機1回)	13,000マイル
山形県 寒河江市	10名	4回(新幹線2回/飛行機2回)	22,000マイル
山形県 河北町	5名	4回(新幹線2回/飛行機2回)	22,000マイル
山形県 高畠町	5名	2回(新幹線1回/飛行機1回)	11,000マイル